

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式							
M314M106	イムノメタボリズム学 (Immunometabolism)					コース共通専門分野	対面(含 オンデマンド型)							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	医学部先進医療科学科	後期	金5	日本語		単独						
担当教員	氏名 小林 隆志 E-mail kansen@oita-u.ac.jp 内線 5702													
授業の概要	免疫系の機構を細胞レベルおよび分子レベルで理解し、病原体に対する免疫反応、先天性および後天性免疫不全症候群(acquired immune deficiency syndrome : AIDS)、主な自己免疫疾患とアレルギー疾患、さらに、がん細胞に対する免疫系の反応を理解する。													
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	
目標1	免疫組織・細胞の構造と機能、分化と成熟の過程を説明できる													
目標2	免疫系の一般特性、生体防御機構、免疫調節機構について説明できる													
目標3	免疫反応の人為的調節(ワクチン、免疫抑制剤)について説明できる													
目標4	免疫機構の破綻による疾患(免疫不全、アレルギー-自己免疫疾患、がん)の発症機序を説明できる													
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)							10							
授業の内容														
1	総論													
2	病原体・炎症													
3	食食													
4	補体・I型IFN・NK細胞													
5	獲得免疫総論													
6	抗体・B細胞													
7	B細胞の成熟・免疫応答													
8	T細胞抗原認識とT細胞分化													
9	T細胞応答と免疫寛容													
10	免疫細胞の遊走と粘膜免疫													
11														
12														
13														
14														
15														
ラ	A:知識の定着・確認	演習、小テスト				工	動画の活用、LMS(Moodle)の活用							
イ	B:意見の表現・交換					夫								
ニ	C:応用志向					そ								
テ	D:知識の活用・創造					の								
グ														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修	配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する(10h)。												
	事後学修	小テストや配布資料を用いて復習する(20h)。												
	想定時間合計	30												
教科書	エッセンシャル免疫学(第4版)メディカル・サイエンス・インターナショナル ピーター パーラム 2023年													
参考書	Janeway's免疫生物学 原書第9版(監訳:笹月健彦 南江堂)2019年													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	筆記試験	90%										
	小テスト、レポート課題	10%										
注意事項	講義スライドおよび動画は学内限定とし、無断で学外配布することを禁止する。											
備考												
リンク	URL											